

資料 4

教科書展示会の実施結果

○ 閲覧者数及び意見書件数

展示期間	会場	閲覧者数	意見書
6月11日(金) ～7月8日(木)	京都市総合教育センター	55人	13件
6月21日(月) ～7月8日(木)	右京中央図書館	10人	7件
合計		65人	20件

※閲覧者数は、閲覧者名簿に氏名を記入した人数。

※小・中学校及び義務教育学校育成学級、高等学校、総合支援学校用教科書も展示。

## 展示会の意見書 (原文転記)

### <総合教育センター> 13件

- ・ 中学社会科「歴史教科書」自由社版についての意見を書きます。
- ① P 2 「歴史を学ぶとは」の中に「ご先祖」の言葉が6回出ている。道徳的表現で歴史教科書にふさわしくない。
- ② P 3 8 「神話が語る国の始まり」の文に「神道とは何か」の紹介があるが特定の宗教の説明、宣伝は間違っている。
- ③ P 3 9 「神話」の話なのに、結論「初代の神武天皇として即位しました」注に「2月1日建国記念日」紹介。歴史事実でない。
- ④ P 4 1 「神話」の紹介なのに文の結論「美智子皇后のお歌」の紹介は神話と現実を結ぶ文章で間違いである。
- ⑤ P 5 3 「天皇は政治の実権から遠ざかり」とあるが歴史事実は政治に深くかかわった事実が多くある。間違い。
- ⑥ P 1 1 5 秀吉軍の「朝鮮出兵」で軍が朝鮮の人々に残虐な行為をした事実がまったく書かれていない（耳塚など）。
- ⑦ P 1 2 6 「身分制度」で「えた・ひにん」の「きびしい制限を受けました」と書かれているが差別を批判されていない。
- ⑧ P 1 4 0 「赤穂浪士」の誌が1ページ紹介されているが、戦争中軍国主義思想宣伝に利用されたこと批判されていない。
- ⑨ P 1 4 1 「二宮尊徳と勤勉の精神」の誌が1ページ書かれているが、戦時中修身科で軍国主義に利用されたこと批判できていない。
- ⑩ P 1 4 9 「久松五勇士記念碑」の写真が半ページ大で紹介されているが、P 1 9 4 の文は日露戦争勝利の賛美で反省がない。
- ⑪ P 1 8 4 「大日本帝国憲法」の内容と紹介は全面肯定、賛美で日本の戦争に導いた憲法である批判が全くない。
- ⑫ P 1 8 8 「東学党」の「農民の暴動」の紹介は間違い。日本の支配に苦しめられた農民・朝鮮人の抵抗、独立、蜂起の連動である。
- ⑬ P 2 2 6 「共産主義とファシズムの台頭」は両者を同じ「全体主義」と紹介は間違い。革命とファシズムは全く別である。
- ⑭ P 2 2 7 「日本共産党」が「ひそかに創立」と書き、スターリンの「反対者を処刑した」と結びつけ、今日の共産党を「暴力」と結びつけている。
- ⑮ P 2 4 0 「大東亜会議とアジア諸国」の全体の文は日本の侵略戦争を「アジア解放の戦争」としている。間違い。
- ⑯ P 2 4 4 「日本の敗戦」が現実には起こっているのに、昭和天皇はやめなかった。「聖断」ではない。
- ⑰ P 2 4 8・9 「大東亜戦争とアジアの独立」日本の戦争がアジアの国々の独立につながったというのは間違い。
- ⑱ P 2 5 6・7 「日本国憲法制定」は「GHQ案」を「ほとんど無修正で成立し」は間違い。重要な修正を加えたのが事実である。
- ⑲ P 2 6 8 「国民とともに歩まれた昭和天皇」の文、昭和天皇は戦争責任があること全く書いていない。間違い。

以上自由社の歴史教科書は間違った歴史観に立っている。昨年検定不合格で現年また採択するのは間違っている。

—行政区：伏見区

- ・ 中学校から公民を学ぶんだと思いました。中学生にも分かりやすく書かれていると思いま

した。

—行政区：中京区

- ・子ども達、現場はすでに帝国書院の教科書で学びが始まっています。再採択でもしも自由社の教科書になると現場に大きな混乱が起きるのではないのでしょうか。それに、昨年度の採択の信頼性を損なうこととなります。今の帝国書院のままにしてください。

—行政区：右京区

- ・自由社と帝国書院を見比べました。帝国書院が、子どもたちが学習するための工夫が多様で、学びが深まると感じました。昨年度の採択内容をHP等で拝見しましたが、帝国書院より自由社がよいとは感じません。丁寧な調査研究を生かすためにも、子どもたちの学びのためにも、帝国書院がよいと思います。帝国書院の方が、学校の先生方の混乱もないのではないのでしょうか。

—行政区：左京区

- ・昨年、中学校教科書は、専門家の方が検討をかさね、採択されたにもかかわらず、あらたに自由社教科書が検定に合格したということで今年も再採択が行なわれるということで自由社の教科書を読ませていただきました。文章があいまいで、歴史の事実をできるだけ科学的に学ぶという点では疑問を感じました。たとえば、国の始まりのところで、日本最古の歴史書である「古事記」「日本書紀」に神話の形で書かれています。神話を、ただちに歴史的事実として扱うことはできません。としつつも神話をくわしく掲載しているのはいかなものかと思います。しっかり昨年分析され採択された帝国書院の教科書を引きつづき採択されますよう望みます。

—行政区：左京区

- ・例年より展示場所が減ったのは残念ですが、休日や夜間まで空いている図書館で展示されていたのはよかったです。

—行政区：右京区

- ・日本の歴史に誇りを持たせるには、自由社がよいと考えます。国際化が進む中、外国の方と様々な面でつながりが増える中であって、自国に対する誇りを持つことは大切だと思うからです。内容に少しぐらい偏りがあっても、指導者の工夫で何とかするべきだと思います。

—行政区：左京区

- ・P 2 歴史を学ぶとはに、ご先祖の世代、共通のご先祖、私たちのご先祖、ご先祖が直面した、ご先祖と語り合うことができる様になれば、と、何回も「ご先祖が」と言葉が出て、強調されている。それぞれの時代の人々の歴史であって、ご先祖と違うでしょう。スタートから「ご先祖」が何回も出て、びっくりしました。

P 1 9 8 韓国併合 日本が朝鮮総督府を置き、植民地政策として、創氏改名、日本語を使うことを強調、過酷な中での労働や弾圧があった事を正しく書かれていない。

P 2 4 2 下方④創氏改名とは何か…改名は自由意志とありますが、やっぱり強制だったでしょう。

P 1 8 5 教育勅語を現代文で要約しているが、「国民は」臣民であり非常事態とは一旦国家危急の…戦争に借り出される厳しさが表わされていない。原文に近い形で書いた方がいいと思います。

—行政区：左京区

- ・限られた時間のみでしか閲覧できないので、ぜひ通年で図書の貸出しもできるように願

いしたいです。図書館などで貸し出しが実施されているのでしたらおしえて下さい。

—行政区：中京区

- ・難しいことはわかりませんが、実際に教科書を使う先生方が良いと思われる教科書が一番です。生徒にとって、どの教科書が最も適しているのか、ぜひ先生方の意見を大切に選んでください。

—行政区：伏見区

- ・自由社の歴史教科書は本当に教科書検定に合格したのでしょうか？道徳の教科書と歴史の教科書を混同したような記述や誘導的な記述が多く驚きます。歴史は、良い面も悪い面も客観的に正しく子ども達が学べるようにしてほしいです。歴史学的にみて、間違っている記述もありました。自由社の教科書は使わないで下さい。

—行政区：左京区

- ・まずは、今年4月から学習が始まった教科書を来年度から変えるとしたら、先生方のご苦労は大変なものだと思う。自由社版が従来 of 教科書よりもかなり優れているものかと思ったがそうでもない。事実かどうかわからない古代史に多くのページを使い、また富国強兵に力を入れた明治にもページを使い過ぎる気がする。第二次世界大戦の記述の中で“やりたくない戦争に巻き込まれた”というのは事実と反する。また、東日本大震災後、原発事故により世界が脱原発・環境問題に大きく舵をきったことに一言も触れていないのはいかなものか。全般的に文化の扱いも少なく雑である。「新しい歴史教科書」（自由社発行）は次代を担う子どもたちには全くふさわしくない。

—行政区：左京区

- ・P 257 日本国憲法の制定 経過は書かれているが、制定された憲法が戦争放棄、戦力を持たない、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重など抜かしてはいけない大事なところが記されていない。そして、ことさら、憲法改正の動きにページをさいている。教科書はこれ一つだけではありません。子どもに大事なところをしっかりと書かれているものを選んでいただきたい。

—行政区：左京区

#### <右京中央図書館> 7件

- ・私学共済連合，資料質出，一般提示項目，配置品，普通考察，読書目的物，出版著作権利法日本高等弁務官認定協呈，国際弁務法人，龍谷大学修士課程法人査定項目経剤査定認証拝見時談協議瞬着不得定議行政追跡行為違法民法第四条，九〇七条器物破損横頂犯罪出頭時刻，現行犯登頂時々

—行政区：中京区

- ・昨年、修正できずに不合格になったものを、これまでのルールを曲げて今年採択候補に上げるのは明らかにおかしい。4年後まで、待つべきです。また、この教科書は、近代を含め、当時の人々、特に為政者が行ったことを正当化するだけの立場から「歴史」を叙述しており、子どもたちに歴史の教訓から何を学ぶかという視点が全くなく、教科書としては著しく不適当です。採択すべきではありません。特に、20世紀の歴史は、立場があまりにも偏っていると思います。アジアの人々への加害性への言及が、完全に欠如しているのは大きな問題です。

—行政区：中京区

- ・自由社と育鵬社の教科書は片寄った考えの団体が片寄った考えへと子供たちを導こうとして作られた教科書であり学術的な教育の体を成していない。これを採択しようとする市長・教科書選定委員の方々並びに教育委員会の良識を疑う。教育が日本の未来を作る。子供と日本の未来を守るため、自由社と育鵬社の教科書には断固として反対です。

—行政区：北 区

- ・「育鵬社」「自由社」の教科書採択には、絶対に反対です。共に、大日本帝国憲法を美化している。国外からの賞賛の声などにページを割き、片寄った側面にしか目を向けていない。憲法改正を目論む政権、自民党、日本会議が天皇統治による大日本帝国憲法に戻していこうとする意図が見え見え。また、日本国憲法が「押しつけられた憲法」として記述されているのには、違和感しかない。自由、平等、主権在民をないがしろにする教育など、絶対にあってはならない。戦争を手段として、決してあってはならないものとしていない。むしろ、戦争を認め、それを国民が支えることを奨励している。これも徴兵制、戦争へと若者を洗脳しようとしている政権や日本会議の意図が透けて見える。恐ろしいことだ。「自由社」公民について、社会や国家の為に個人の生活があるような書き方をしているのは、時代遅れもはなはだしい。従来家族かたちを押しつけている。少子高齢化の背景は複雑であるのに、単純化されており、社会の問題の本質を全く説いていない。

—行政区：右京区

- ・「神話が語る国の始まり」の章で「神話」とことわりつつも神の系図を載せて、その子孫が神武天皇であるように示されていて、神の系譜の中に大和朝廷が始まったかのように描いている。神話と史実の混同がひどい。大和朝廷と東アジアの章に「任那」が大和朝廷と関わりあるように書かれているが、その存在は捏造であるとの見解もある。このような事を載せていいのでしょうか？平安京の前の長岡京について本文の中での記述が無いのは残念。「和の文化」などあり、意図的に一方的な価値にむすびつけようという意図が感じられて気持ち悪い（P 32, 33, 67）。江戸時代のアイヌのシャクシャインの戦いの記述が少なすぎる。松前藩のひどいやり方に対するやむにせまれぬ決定だったことが全くわからないのではないのか。

—行政区：西京区

- ・「産業革命と欧米の発展」の章での社会主義、マルクス、共産主義に関する記述がマイナスイメージしかもてない一面的なものになっている。明治の解放令についての記述が少ない。日清戦争、日露戦争について、他国への侵攻であるにもかかわらず肯定的な記述にあふれている。「大東亜戦争」とあえて記述していることに強い違和感を感じる。戦時中に同じ思考で、あのアジア太平洋戦争のことを考えているとしか思えない。歴史の教科書としては問題である。

—行政区：西京区

- ・自由社の新しい歴史教科書は、かなり内容がひどい。たとえば、かつてのアジアに対する戦争を「大東亜戦争」として「アジア解放のため」としているが、実態としてはアジアの支配のための戦争であった面は大きく、アジアの人々が日本の支配に抵抗したり、日本がアジアの人々を多く虐殺したことなどが記載されておらず、非常に問題。また、朝鮮人の抗議がつよかった創氏改名やアイヌの人々の文化を奪ったこと、沖縄を支配した琉球処分をも正当化しており、人権侵害を反省しておらず、教科書として非常にかたよった記述で問題が大きい。採用すべきではない。

—行政区：中京区